

～外来リハ通信～

2009.05

第2回介助技術講習会を4月25日（土）に開催しました。



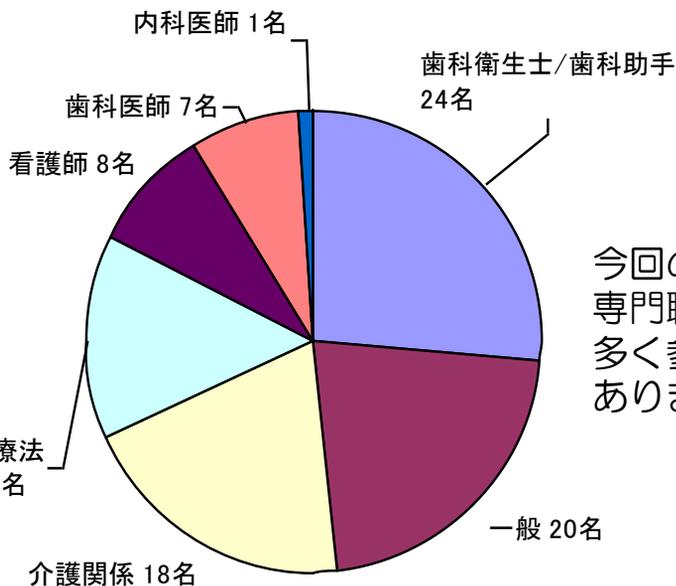
今回は、「いつまでも楽しく食べるために」
～介護予防における口腔機能向上のための支援～
ということで、口腔ケアにスポットをあてました。

講師は、日本大学歯学部摂食機能療法学講座教授の
植田耕一郎先生。厚生労働省「口腔機能の向上支援マニ
ュアル」研究班に主任研究者として参加された、口腔ケア・
リハビリテーション分野の第1人者です。



【関連図書・ビデオ】

1. 植田耕一郎：脳卒中患者の口腔ケア，医歯薬出版，2000.
2. 植田耕一郎：患者説明用/教育用ビデオ・要介護高齢者の摂食・嚥下リハビリ
テーションと口腔ケア，デンタルダイヤモンド社，2001.
3. 植田耕一郎：口と歯の病気マップ，医歯薬出版，2003.
4. 植田耕一郎編他5名：介護予防と口腔機能の向上，医歯薬出版，2006.

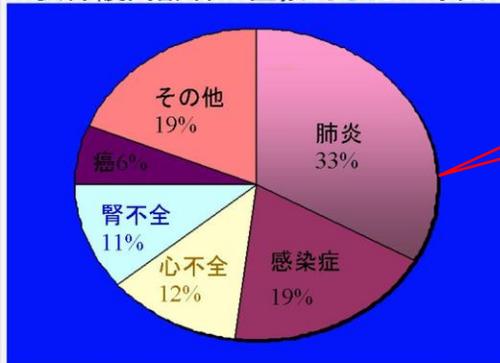


今回の講習会には口腔ケアや介護の
専門職の方だけでなく、一般の方も
多く参加され、90名を超える参加が
ありました。

参加者

講演の内容から、一部を紹介します。

要介護高齢者の直接的な死亡原因



呼吸器系の疾患で高齢者の過半数が亡くなっています

要介護高齢者の死亡原因のトップは肺炎です。

そして、その肺炎を引き起こすのは、何と、口腔内の細菌なのです。いかに口腔内の清掃が大事かがわかります。

誤嚥性肺炎の大別

Macroaspiration

嘔吐物、食物の誤嚥

化学的肺炎

機能改善

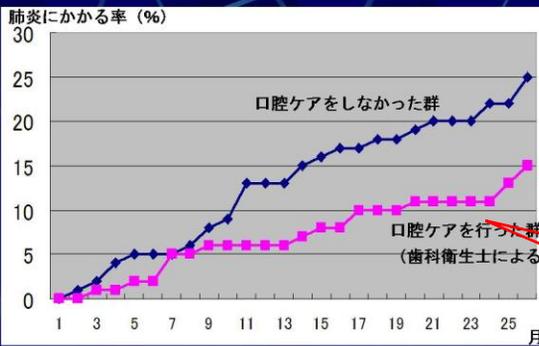
Microaspiration

口腔内常在菌、
上気道分泌物の誤嚥

細菌性肺炎

清掃

口腔ケアの効果(370名の施設入所者)



米山武義 等: Lancet, 1999.

口腔ケアを行った場合と行わなかった場合とでは、肺炎にかかる率がこんなにも違うのです。

全国介護予防給付の実績

運動器の機能向上	52.5%
栄養改善	0.3%
口腔機能の向上支援	2.2%

しかし・・・全国介護予防給付の実績は、栄養改善や口腔機能向上支援など食べることに关するものは、運動器の機能向上に比し、まだまだとても低いのが現状です。口腔機能向上の専門職が現場にいないことも事業の展開が進まない一因となっています。

そういう中で、例えば、口腔ケアの専門職に1週間に1度チェックしてもらいながら、他は介護にあたる人が定期的に行うなど、専門職と福祉との連携が、いつまでも楽しく食べるためにはとても重要になってきます。

講習会終了後のアンケートでは、充実した内容でもう少したくさんじっくりと聞きたかった、という声が多く寄せられました。みなさん口腔ケアの大切さを実感されたようでした。